

## 帝京科学大学紀要投稿論文に関するマナーについて

帝京科学大学紀要は共通の専門を有する研究者や教育者のみが投稿し、また査読を行うわけではありません。そこで、投稿者や査読者に求められるマナーを以下に示しておきますので、ご留意の上、投稿や査読を行なっていただきますよう、お願いいたします。

### 1. 投稿者のマナー

#### 1) 投稿に際して

読者や査読者は投稿者と共通の専門を有する人たちばかりではありません。また、査読者も同じ専門の研究者とは限りません。そこで、下記のようなマナーを守って投稿してください。

- 査読者は投稿論文の日本語を直す役割は持っていません。正しく、意味の通じる日本語にしてから投稿してください。自信のない場合は、専門家や同僚等に見てもらってから投稿するようにしてください。少数の「て、に、を、は」程度なら査読者でも直せますが、意味のわかりにくい日本語の場合は、査読が困難になりそれだけで却下されることもあります。
- 投稿論文が英文の場合は、原則として必ずネイティブ等のチェックを受けてから投稿してください。投稿の際にネイティブチェックの有無を明記し、チェックを受けた旨の証明書がある場合は、証明書を添付してください。
- 投稿論文が和文のときの Abstract は、ネイティブ等のチェックを受けるようにしてください。
- 投稿論文における研究の目的を明確に記述してください。目的のはっきりとしない論文は価値がありません。それだけで却下の要因となります。
- 投稿規程をよく読んで、投稿規程に従って論文を作成してください。編集委員もボランティアで業務を行っていますので、編集委員の労力も減らすようご協力ください。

#### 2) 査読後の修正に際して

- 査読者はボランティアで投稿者の論文の査読を行っています。査読者に対する感謝の気持ちを忘れないでください。
- 査読者のコメントには一つずつどのように対応したのかという内容を記述した回答書を添付するようにしてください。再査読の際に査読者の負担を軽減するためにも、丁寧な回答書を作成するようにお願いします。
- 編集作業の迅速性を保ち、定期出版を守るためにも期日は必ず守るようにしてください。

## 2. 査読者のマナー

### 1) 最初の査読に際して

著者の意図をよく理解して査読を行ってください。先入観で判断せずに、論文に記述された内容で判断してください。

- まず、研究の目的が明確にされているかどうかを見極め、その目的の達成度合いについて判断してください。
- 再現性のある明確な基準で研究が遂行されているかについて審査を行ってください。
- 一度の査読で問題点はすべて指摘してください。再査読の際には、修正箇所についてのみ指摘を行ってください。もちろん、修正によってその他の箇所との齟齬が発生した場合はその限りではありません。
- 「て、に、を、は」等の間違いの指摘は最低限でけっこうです。意味の通じないあるいはわかりにくい文については、そのように指摘してください。
- 期日を守って査読を行ってください。

### 2) 再査読に際して

- 投稿者からの回答書を読み、適切に修正が施されているかどうかについて判断してください。
- 特に問題がなければ、期日を守って早めに査読を終了してください。